

## 5 授業実践例

学習到達目標の達成に向けて、単元構想において、段階的な指導手順や、身に付けた力の評価・振り返りの方法が示されています。

### 【実践1：コミュニケーション英語Ⅰ】

#### 単元ごとの指導と評価の計画（単元構想）

使用教材 教科書： English Communication I （ 出版）

#### 1 単元名

Lesson \_\_\_\_\_

#### 2 単元の目標と言語活動

##### 【単元の目標】

冒険家であり写真家でもある \_\_\_\_\_ 氏の活動に関する英文を読み、彼のインド旅行やエベレストへの挑戦を通して、世界に目を向けることの大切さを学ぶ。また彼の活動を自らに置き換えて考え、単元の最後には、興味のある国についてのエッセイを英語でまとめ、プレゼンテーションの形式で発表することができる。

##### 【言語活動】

- ・教科書の内容について、理解を確かめるための問題にペアで取り組む。
- ・教科書の内容に関する、答えが一つに限定されない問題について、ペアでやり取りする。
- ・まとめとして、興味のある国についてグループ内でプレゼンテーションの形式で発表し合う。

#### 3 単元のCAN-DO（4技能ごとの学習到達目標の設定）

「CAN-DO リスト (p. 22)」に対応させています。

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法
・教科書の内容に関する問いに対して、要点を明確にして相手に伝えることができる。	・活動の観察	・興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションをすることができる。	・プレゼンテーション	・言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。	・活動の観察	・本文で使用されている英語表現を理解し、大意を把握することができる。	・タスクシート

#### 4 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準の設定）

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	①聞き手の気持ちを考えながら、ペア・ワークやグループ・ワークで積極的に意思の伝達を図ろうとしている。 ②発話者の話を理解しようとする態度が見られる。	①教科書の内容に関する問いに対して、要点を明確にして相手に伝えることができる。 ②興味のある国について、50語程度の英語でまとめプレゼンテーションをすることができる。	①言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。 ②本文で使用されている英語表現を理解し、大意を把握することができる。	①関係代名詞 <b>what</b> と分詞の形容詞的用法の基本的な使い方を理解している。 ②読んだ内容について感想を述べるための表現を理解している。
内容のまとめ	①話すこと ②聞くこと	①話すこと ②書くこと	①聞くこと ②読むこと	①②書くこと
評価方法	①②活動の観察	①活動の観察 ②プレゼンテーション	①活動の観察 ②タスクシート	①②定期考査

## 5 指導と評価の計画

必ずペアや相手を意識して言語活動を行うために、タスクシート (p.19~p.21) が工夫されています。

時間	ねらい, 学習活動, 指導上の留意点	評価の観点	評価方法
1 ～ 4	<p><b>[ねらい]</b> 各パートの大意を把握するとともに、登場人物の行動や心情について考察する。 各パートに関わる内容について意見交換や発表を行う。</p> <p><b>[学習活動]</b> 予習として、本文の各パートをよく読んでくることが課せられている。</p> <p>1. タスクシートの問1 (p.19) で、本文の要約ができるかをペアで確認する。その後クラス全体で正解を確認する。</p> <p>2. タスクシートの問2 (p.19) で、本文全体の内容が理解できているかをペアで確認する。その後クラス全体で正解を確認する。</p> <p>3. タスクシートの問3 (p.19-p.20) で、本文中の英文をより分かりやすい表現を用いて書き換え、数名の生徒が発表する。英文をさまざまな表現を用いてパラフレーズできることを理解する。</p> <p>4. 教師の後に続いてクラス全体で音読する。その後、ペアで交互に読み合い、音読練習をする。</p> <p>5. タスクシートの問4 (p.20) で、本文の内容理解を確認する。ペアで英語で質問し合い、相手が答えた内容を書き取る形で進める。その後、クラス全体で正解を確認する。</p> <p>6. タスクシートの問5 (p.20) で、本文の内容に関して英語で自分の意見を述べ、ペアで意見交換をする。その際に、相手の意見をきちんと聞き、自分の英語で相手の意見をまとめる。その後、クラス全体で意見を発表し合う。</p> <p>7. タスクシートの自己評価 (p.21) を用いて、振り返りをする。</p> <p><b>[指導上の留意点]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (活動3) さまざまな表現の仕方があることを伝える。できる限り分かりやすい表現を用いて、コミュニケーションの際に、相手が理解できるように書くよう指導する。</li> <li>・ (活動4) ペアでの音読は1文ずつ交互に読み、自分の発話だけでなく、相手の発話に耳を傾けることも重要であることを伝える。</li> <li>・ (活動5) ペアで互いに質問し合いながら内容を確認させる。日本語を使わずに、英問英答を続けるように促す。</li> </ul>	<p>理解②</p> <p>理解②</p> <p>表現①</p> <p>関心・意欲・態度①</p> <p>表現①</p> <p>理解①</p>	<p>タスクシート</p> <p>タスクシート</p> <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p>

時間	ねらい, 学習活動, 指導上の留意点	評価の観点	評価方法
	<p>・ (活動6) 答えが一つに限定されない問いであることを伝える。できる限り分かりやすい表現を用いて、ゆっくりと大きな声で丁寧に意見を伝えるように促す。また、相手の意見を聞いた後で、自分の言葉でまとめ直すことの大切さを強調する。</p>		
5	<p><b>[ねらい]</b> パート1からパート4までの内容と、ポイントとなる英語表現を理解する。</p> <p><b>[学習活動]</b> 予習として、教科書の Route Map, Summary, Key Language, Exercises を学習することが課せられている。</p> <p>1. Lesson 3 パート1からパート4までの内容の整理と要約を行う。 Route Map, Summary の内容をペアで確認し合い、その後、クラス全体で正解を確認する。</p> <p>2. 本単元で新たに学習する文法事項について、Key Language の例文を参考にしながら確認し、コミュニケーション活動で実際に使えるように指導する。 (a) 関係代名詞 who / that / which / whose / whom / what (b) 分詞の形容詞的用法</p> <p>3. Exercises で、本単元で学習する重要単語を確認し、まとめとして自由英作文に取り組む。</p> <p><b>[指導上の留意点]</b> ・ (活動2) 文法事項の説明については、細かな部分までは説明せずに、教科書本文の理解とコミュニケーションに必要な程度にとどめておく。また次回以降のコミュニケーション活動で、学んだことを積極的に生かせるよう指導する。 ・ (活動3) 自由英作文にはさまざまな正解があることを理解させるとともに、文法的な細かい間違いを気にしないように指導する。自由英作文を生徒に発表させる場を設ける。</p>	<p>表現①</p> <p>知識・理解①</p> <p>知識・理解②</p>	<p>活動の観察</p> <p>定期考査 (後日)</p> <p>定期考査 (後日)</p>
6	<p><b>[ねらい]</b> 単元の内容に沿ったテーマでプレゼンテーションを行う。各パートで学習した内容を踏まえ、自分の意見を相手に伝えることを通してコミュニケーション能力を高める。</p> <p><b>[学習活動]</b> 予習としてまとめのタスクシート (p.21) を使い、英語の原稿を仕上げることが課せられている。インターネットや書籍などを使い、調べ学習を行うことが奨励される。</p> <p>1. 課題で作成したプレゼンテーションの原稿をペアで交換し、互いの原稿を読み合う。次に、互いの原稿について意見交換をし、修正を加えることで、更により原稿に仕上げる。</p>	<p>関心・意欲・態度①</p>	<p>活動の観察</p>

ねらい, 学習活動, 指導上の留意点		評価の観点	評価方法
2. 8名のグループを五つ作り, 各グループで司会者を選ぶ。  3. 司会者の進行により, グループ内で順番に発表する。タスクシート (p.21) にグループ全員のプレゼンテーションの要約を英語で記入する。  4. グループの代表者を1名決める。グループ・ワークで代表者の原稿に更に修正を加え, 発表原稿を完成させる。  5. グループの代表者は, クラス全体の前でプレゼンテーションを発表する。		表現② 関心・意欲・態度② 理解①	プレゼンテーション 活動の観察 活動の観察
<b>[指導上の留意点]</b> ・ (活動1) ペアの生徒の意見を積極的に取り入れて, 原稿を修正させる。 ・ (活動3) 書いた英文を, 相手に伝わりやすく話すことを意識させる。また, 他の生徒の発表をしっかりと聞くよう指導する。ルーブリックを使用してプレゼンテーションの発表の評価と聞く態度の評価を行う。 ・ (活動5) グループの代表として自信をもって発表できるように指導する。		表現②	プレゼンテーション ルーブリック

### Lesson 3 プレゼンテーション評価基準表 (ルーブリック)

評価の観点	評価規準	基準			評価 (得点)
		A (3点)	B (2点)	C (1点)	
外国語表現の能力	興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションをすることができる。(分量)	自分の意見が50語以上で述べられ、さらに内容にふさわしい分量である。	自分の意見が50語以上である。	自分の意見が50語に満たない分量である。	
外国語表現の能力	興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションをすることができる。(デリバリー)	声の大きさやアイコンタクトなどに注意をして、言いたいことを伝えようとしている。	相手のことを考えて発話している。	自分のペースで発話している。	
外国語表現の能力	教科書本文に関する問いに対して、要点を明確にして相手に伝えることができる。(構成)	相手に分かりやすく順序立てて構成されている。	順序立てて構成されている。	論理的な構成に欠ける。	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	発話者の話を理解しようとする態度が見られる。(態度)	相手の伝えたいことを理解しようとする態度が非常によく見て取れる。	相手の伝えたいことを理解しようとする態度が見て取れる。	相手の伝えたいことを理解しようとする態度があまり見て取れない。	
外国語理解の能力	言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。(理解)	相手の伝えたいことがしっかりと理解できている。	相手の伝えたいこととおおむね理解できている。	相手の伝えたいことがあまり理解できていない。	

ルーブリックに「評価の観点」を盛り込むことで、学習到達目標と一貫性をもたせる工夫をしています。



## 8 本時の目標

- (1) ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、意思の伝達を図る。
- (2) 興味のある国について、まとまりのある英語でプレゼンテーションを行う。
- (3) 英語によるプレゼンテーションの発表を聞いて、内容を理解する。

## 9 本時の評価規準

評価の観点	1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
評価規準	①聞き手の気持ちを考えながら、ペア・ワークやグループ・ワークで積極的に意思の伝達を図ろうとしている。 ②発話者の話を理解しようとする態度が見られる。	①興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションをすることができる。	①言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。	(本時は設定しない)
内容のまとまり	①話すこと ②聞くこと	①書くこと	①聞くこと	
評価方法	①②活動の観察	①プレゼンテーション	①活動の観察	

## 10 本時の展開 (「主な評価の観点」の( )内の数字は、「9. 本時の評価規準」における四つの「評価の観点」を示す。)

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	1. ペア・ワーク	・課題で作成したプレゼンテーションの原稿をペアで交換し、互いの原稿を読み合う。次に、互いの原稿について意見交換をし、修正を加えることで、更によい原稿に仕上げる。	・ペアの生徒の意見を積極的に取り入れ、原稿を修正させる。	・聞き手の気持ちを考えながら、ペア・ワークやグループ・ワークで積極的に意思の伝達を図ろうとしている。(1)	活動の観察
2分	2. 司会者の選定	・8名のグループを五つ作り、各グループで司会者を選ぶ。			
30分	3. プレゼンテーション	・司会者の進行により、グループ内で順番に発表する。	・書いた英文を、相手に伝わりやすく話すことを意識させる。また、評価基準表(ループリック)を使用してプレゼンテーションの発表の評価を行う。	・興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションの形で発表することができる。(2)	プレゼンテーション ループリック

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
		・タスクシート (p.21) にグループ全員のプレゼンテーションの要約を英語で記入する。	・他の生徒の発表を しっかり聞くよう指導する。また評価基準表 (p.16) を使用してプレゼンテーションを聞く態度を評価する。	・発話者の話を理解しようとする 態度が見られる。 (1) ・言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。 (3)	活動の観察  活動の観察
3分	4. 代表者の選定	・グループの代表者を1名決める。グループワークで代表者の原稿に更に修正を加え、発表原稿を完成させる。			
10分	5. プレゼンテーション	・グループの代表者は、クラス全体の前でプレゼンテーションを発表する。	・グループの代表として意欲的に発表できるよう指導する。	・興味のある国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションの形で発表することができる。(2)	プレゼンテーション  グループリク

～ ～ ～ ～ ～ Lesson 3 part 4 タスクシート ～ ～ ～ ～ ～

1 Fill in the blanks to make the outline of this part.

- (1) In 2001, Mr. \_\_\_\_\_ was at the ( ) of Mt. Everest, the world's ( ) peak. He also climbed all the other ( ) of the Seven Summits. He looked around and there was ( ) higher anywhere.
- (2) He continued to travel and he became well-known as an adventurer, but also he was known as a ( ). Mr. \_\_\_\_\_ said, "There are still so many ( ) I haven't been to and haven't ( )."

2 Answer true or false for the following sentences.

- a. Mt. Everest is the world's highest mountain. [ ]
- b. Mr. \_\_\_\_\_ climbed Mt. Everest in 2000. [ ]
- c. He stopped traveling after climbing Mt. Everest and became a photographer. [ ]
- d. He had an interview in 2010. [ ]

相手に伝わりやすく表現するためのステップになっています。

3 Put the English phrases in this part into easier expressions.

- (1) There was nowhere higher anywhere on the planet.

→ \_\_\_\_\_

→ \_\_\_\_\_

→ \_\_\_\_\_

(2) Mr. continues to travel.

→ \_\_\_\_\_  
→ \_\_\_\_\_  
→ \_\_\_\_\_

(3) There are still so many places I haven't been to.

→ \_\_\_\_\_  
→ \_\_\_\_\_  
→ \_\_\_\_\_

4 Answer the questions about the story.

(1) How did Mr. feel at the top of Mt. Everest?

Your answer \_\_\_\_\_

Your partner's answer \_\_\_\_\_

Answer \_\_\_\_\_

(2) What did Mr. say in an interview?

Your answer \_\_\_\_\_

Your partner's answer \_\_\_\_\_

Answer \_\_\_\_\_

5 Answer the questions below.

(1) Do you want to climb a high mountain? Why or why not?

Your idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Your partner's idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Other members' ideas \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(2) Why does he climb a lot of mountains?

Your idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Your partner's idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Other members' ideas \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(3) Which place do you think Mr. will visit next?

Your idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Your partner's idea \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Other members' ideas \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



生徒の様子や実態に応じて、3～5段階の基準を示しましょう。

6 自己評価

タスクの完了	タスクを時間内に完了することができたか。	A ・ B ・ C ・ D ・ E
コミュニケーションの継続	相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。	A ・ B ・ C ・ D ・ E
自分の発話の正確さ	英語の間違いにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。	A ・ B ・ C ・ D ・ E
相手の発話の理解	英語の間違いにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。	A ・ B ・ C ・ D ・ E

～ ～ ～ ～ ～ Lesson 3 まとめ タスクシート ～ ～ ～ ～ ～

1 Search on the Internet and books for a country you would like to visit, give a presentation to group members.

Which country would you like to visit?

---

Where is the place of the country?

---

What are good points?

---



---

2 Make your presentation.

---



---



---



---

3 Write down other members' presentations.

A
B
C
D
E

「単元のCAN-DO」(p.13)について自己評価させます。

4 単元の自己評価 (単元のCAN-DO)

話すこと	教科書本文に関する問いに対して、要点を明確にして相手に伝えることができる。	A・B・C・D・E
書くこと	興味のある外国について50語程度の英語でまとめ、プレゼンテーションの形で発表することができる。	A・B・C・D・E
聞くこと	言語活動において相手の話を聞き、自分の意見との違いを理解することができる。	A・B・C・D・E
読むこと	本文で使用されている英語表現を理解し、大意を把握することができる。	A・B・C・D・E

<実践1 CAN-DOリスト>

卒業時の目標	英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。				
	外国語表現の能力		外国語理解の能力		
3年生	【履修科目】	コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅱ			
		話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
	学習到達目標	人文・社会・自然科学の分野について、平易な言葉を用い、自分の考えを論理的に話したり、相手に適切に伝わるように正確に表現したりすることができる。	時事問題など幅広く社会に関係したテーマに関する自分の考えを、論理的な段落構成を意識しながら100語程度で書くことができる。	時事問題など幅広く社会に関係した内容についての情報や説明を聞き取って、要点を的確に理解することができる。	論理性のある説明文などを中心に、専門的な分野の初見の英文を読んで、大筋の内容を的確に理解できる。 自分が必要とする情報を、英文の中から短い時間で的確に探し出すことができる。
2年生	【履修科目】	コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅱ			
		話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
	学習到達目標	家庭や学校における身近な話題について、平易な言葉と正確な文法を用いて、自分の考えを話したり、説明や理由を付けながら意見の交換をしたりすることができる。	人文・社会・自然科学の分野など日常生活から踏み込んだ内容に関する自分の考えやその根拠について、80語程度で書くことができる。	日常生活に関する話や説明を聞いて概要を聞き取ったり、相手からの指示を的確に理解したりすることができる。	人文・社会・自然科学の分野などに関する初見の英文を読んで、大筋の内容を的確に理解できる。 自分が必要とする情報を、英文の中から効率よく探し出すことができる。
1年生	【履修科目】	コミュニケーション英語Ⅰ, 英語表現Ⅰ			
		話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
	学習到達目標	家庭や学校における身近な話題について、聞き手を意識しながら、文法的な間違いを恐れずに会話をしたり、説明や理由を付けながら意見の交換をしたりすることができる。	家庭や学校生活などの日常生活の中で聞いたり読んだりしたこと、学んだことや体験したこと、その概要や要点、その話題に関する意見やその理由を50語程度で書くことができる。	家庭や学校における身近な話題についての情報や説明を聞き取ったり、相手からの指示を理解したりすることができる。	環境・文化・習慣などの身近な話題に関する初見の英文を読んで、大筋の内容を理解できる。 自分が必要とする情報を、英文の中から探し出すことができる。